

県民の皆さんへ



人口減少・少子高齢化の進行、技術革新やグローバル化の進展など、変化が激しいこの時代においては、社会課題が複雑化・多様化しており、これからの社会を展望する上で、教育の果たす役割はますます重要となっています。

こうした社会全体の潮流を念頭に置いた上で、令和5（2023）年10月、教育施策の基本的な考え方を示した「三重県教育施策大綱」を策定しました。一人ひとりがかけがえのない存在であり、三重の宝である子どもたちが、安全・安心な教育環境のもとで心身ともに健やかに育つことができるよう、いじめの防止、自己肯定感の涵養^{かん}、教職の魅力向上、地域や世界で活躍する人材の育成などの施策を推進いたします。

今般、今後4年間の三重の教育の指針となる「三重県教育ビジョン」を策定しました。本ビジョンに基づき、取組を一層加速してまいります。

このビジョンの副題には、“子どもたちが個性を輝かせ、望む未来を実現していくために”と掲げています。子どもたちが望む未来を実現し、笑顔があふれる、明るい未来にするために、よりよい教育を通じてよりよい社会を創るという目標を県民の皆さんと共有しながら、子どもたちを育む取組を地域全体で進めていきましょう。

令和6年3月

三重県知事 一見 勝之

子どもたちが個性を輝かせ、 望む未来を実現していくために



少子高齢化の進行や人口減少、AIをはじめとする技術の進歩、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、国際情勢の不安定化など、教育を取り巻く社会状況が急速に変化し、「変動性、不確実性、複雑性、曖昧性」を特徴とする、将来予測の困難な時代が到来しています。

こうした中、令和5（2023）年10月に策定された「三重県教育施策大綱」をふまえ、今後4年間の教育の新しい指針として「三重県教育ビジョン」を策定しました。

このビジョンでは、「子どもたちに育みたい力」を明らかにするとともに、「教育ビジョンを貫く視点」を示しています。

「子どもたちに育みたい力」では、教育における不易と流行を見極めつつ、時代の変化に鑑み、これまで示してきた「自立する力」と「共生する力」に加え、「創造する力」を新たに示し、3つの力を掲げました。

「教育ビジョンを貫く視点」では、子どもたちの目線に立つことや家庭・地域との連携・協働など、これまでのビジョンから受け継いできた三重の教育の真髄とも言える施策横断的な考え方を掲げました。

私たちは、子どもたちの可能性を最大限に引き出すことができるよう、誰もが安心して学べる教育環境づくりを進め、子どもたちの知・徳・体をバランスよく育てていきます。このような教育を通じて、新時代を担う子どもたちが、その個性と能力を発揮し、一人ひとりの望む未来を実現していくことを願っています。

県民の皆さんには、子どもたちの輝く未来の実現に向けて、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、このビジョンの策定にあたって、2年間にわたり審議いただいた三重県教育改革推進会議委員の皆さん、貴重なご意見をいただいた県民の皆さんや教育関係者の皆さん、意見交換会やアンケートに参加・協力していただいた小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒の皆さん、大学生の皆さんに対し、厚くお礼を申し上げます。

令和6年3月

三重県教育委員会教育長 **福永 和伸**